

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

兵庫県 佐用町

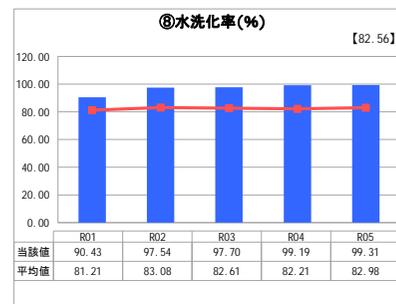
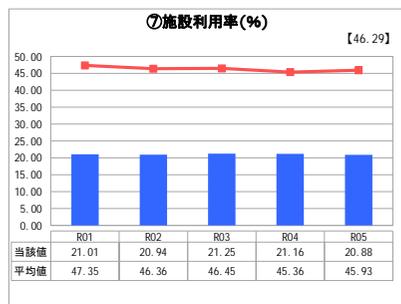
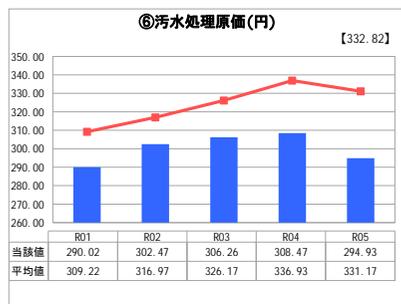
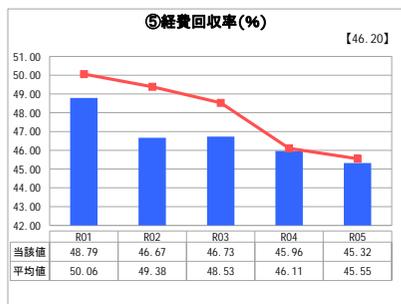
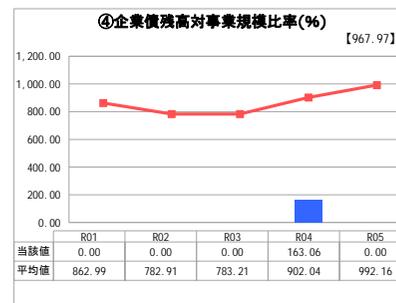
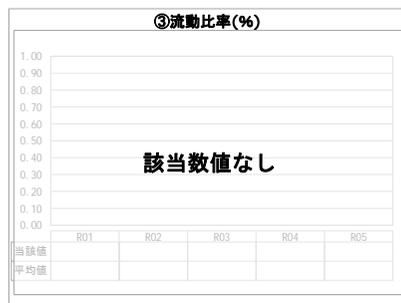
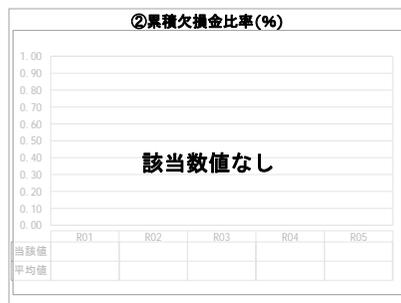
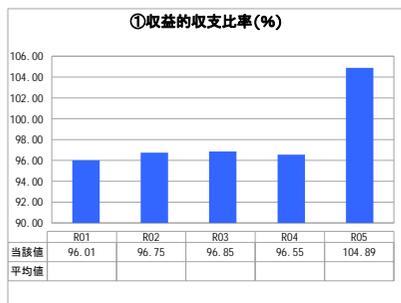
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	個別排水処理	L2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	26.28	100.00	3,039

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
15,166	307.44	49.33
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,926	270.83	14.50

**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和5年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率は公営企業会計移行による切り決算に伴い、使用料及び費用が減少するが、一般会計繰入金が増となったため、前年に比べ大幅な増加となっている。使用料以外の収入は一般会計からの繰入金による部分が大きいため、更なる維持管理経費の節減、使用料金の見直しが必要がある。

④企業債残高対事業規模比率は起債償還を一般会計からの繰入金に依存しているため当該値に反映されていない。

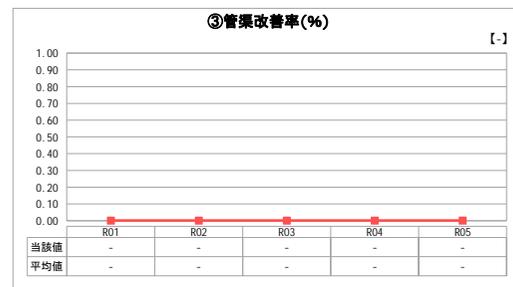
⑤経費回収率は全国平均値及び類似団体平均値を下回っており、今後も接続人口が減少することが予想されるため、使用料の改定等を視野に入れた計画の策定が必要である。

⑥汚水処理原価は減少しており、人口減少による有収水量の低下も見込まれることから、今後のコスト増加が見込まれる。

⑦施設利用率は人口減の影響で前年に比べ微減で、全国平均値及び類似団体平均値をかなり下回っていることから、更新時の施設規模の見直しが必要である。

⑧水洗化率は全国平均を上回っているが100%を目標にさらに推進を図る。

## 2. 老朽化の状況



## 2. 老朽化の状況について

浄化槽の老朽化が着実に進んでいる。不在世帯の浄化槽の管理体制の見直しも含め、長寿命化計画の策定が必要になっている。浄化槽については、休止届出に伴う、維持管理業務の停止によるコスト削減及び使用料金算定の根本的な見直し等も検討しなければならない。

## 全体総括

浄化槽の老朽化が着実に進んでいる。不在世帯の浄化槽の管理体制の見直しも含め、長寿命化計画の策定が必要になっている。浄化槽については、休止届出に伴う、維持管理業務の停止によるコスト削減及び使用料金算定の根本的な見直し等も検討しなければならない。また、令和6年度から企業会計に移行することから抜本的に事業運営を見直ししていく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。